

■『牧之原市菊川市学校組合 小中一貫教育推進計画についてのアンケート』における自由記述意見とそれに対する回答

【アンケート設問】Q3. 「牧之原市菊川市学校組合 小中一貫教育推進計画」についてどう思いますか。

意見の分類		意見	回答	関連ページ
大分類	中分類			
基本方針	方針 方向性	小中一貫教育という名前になるだけで、中身はどうなるのか。	牧之原小中学校では、既に小中一貫教育の取組として、授業への教員の乗り入れ等の連携事業を一部実施していますが、小中一貫校となることで、この取組を更に充実することができるようになります。 9年間の教育目標のもと、小中学校の教員が1～9年生をみんなで見守ることができ、小学校高学年がさらに多くの教科で専門性の高い授業を受けることができます。	P9 P11 P12
		小中一貫教育にする理由と目的を教えてください。		
		今も同じ敷地内にあり、交流も多いのでわざわざ一貫にする必要があるのか。		
	学校の形態	将来義務教育学校に移行するのであれば、なぜ初めから義務教育学校ではなく小中一貫校にするのか。	牧之原小中学校の施設が隣接している利点を生かし、校舎をつなげることで小中一貫教育を行いやすい環境を作ることができます。	P9 P11 P12
		準備が間に合わないからまずは小中一貫校にするのでは、移行期の子どもは方針が変わることで落ち着いた教育が受けられないのではないか。	義務教育学校として開校するためには、校名や校歌、校章を決めなければならないなど、協議検討に長期間を要することから、子どもたちが早期により良い環境で教育を受けることができるよう、まずは小中一貫校から始めたいと考えました。そして、子どもたちや教職員が環境に慣れ、教育活動が充実した段階で義務教育学校へ移行することを計画しています。	
		義務教育学校を理想とし市内2校がその形でスタートし、牧小中もゆくゆくは義務教育学校にする計画ならば、牧小中も最初から義務教育学校にすべきではないか。	小中一貫校や義務教育学校は、9年間の一貫した教育課程を編成するという面ではこれまでの学校とは異なりますが、教育方針そのものが大きく変わることはないため、子どもたちは落ち着いて教育を受けることができます。	
		最初からそうしない、できない理由や、小中一貫校を選んだ理由をまずは明確にしてほしい。		
【基本計画 ：視点】 地域や世界とつながる多様な体験活動	地域とのリアルな体験 オンラインで世界とつながる	他では出来ない様な経験を通して大きく成長して欲しいと思います。	乗り入れ授業の充実と牧之原らしい体験ができる教育課程としたいと考えています。 学校運営協議会の皆さんと共に議論し、地域の人材活用なども含め、牧之原小中学校ならではの教育活動を展開していきます。	P14
【基本計画 ：視点】 学びやすい教育環境の整備	施設一体型校舎の整備	小中をつなぐ渡り廊下を2階に設置してほしい。	渡り廊下等で両校舎をつなげ施設一体型の校舎とすることで、今以上に子どもや教職員が移動しやすく、交流しやすい環境を整えます。	P15 P16
		校舎をつなげる必要性はあるのか。		
		今も中学校との行き来があり、教師の行き来もあるが、違いは何か。	接続場所や方法などについては、比較検討を行い、総合的に判断し決定します。	

■『牧之原市菊川市学校組合 小中一貫教育推進計画についてのアンケート』における自由記述意見とそれに対する回答

【アンケート設問】Q 4. 小中一貫校に望むこと、大事にしてほしいことは何ですか。

意見の分類		意見	回答	関連 ページ
大分類	中分類			
【基本計画 ：視点1】 9年間の系 統的・連続 的な学び	●成長に応じた学年段階の区切りの設定 ●9年間のカリキュラムの作成	一貫であっても、年齢に合った社会性の育成をはかること。	発達段階に応じた教育活動を実施するため、年齢の特性に応じた教育を推進します。 学年内のヨコのつながりだけでは関係性が固定化しやすいため、ヨコ（学級）の関係だけでなくタテ（他学年）やナナメ（地域や企業等）の関係を充実させることで、今までのヨコの関係に良い影響をもたらせるようにしていきます。1年生から9年生までの積極的な交流によって学校全体の協力し合える体制づくりを目指していきます。 子どもたちが笑顔で楽しく通う学校にしたいと考えています。個性を大切に、今まで通り家庭とも連携しながら、地域と共に子どもたちの学びや育ちを支援していきます。 子どもたちの学びの充実を図るため、キャリア教育として牧之原市独自のカリキュラムである起郷家教育を推進するとともに、牧之原小中学校らしい9年を通した教育課程を編成していきます。	P11 P12 P13
		小学生と中学生の関わりを増やす。		
		小中一貫だと9年間固定クラスになるかもしれないので、何かトラブルがあれば逃げ道を作ってもらえたらと思います。		
		単学級であるデメリットが助長されないようにしてほしい。保育園から12年間、逃げ場のないような学校にならないようにしてほしい。		
		逃げ場が無くなることのないようにして欲しい。		
		繋がりを大事にしてほしい。学年の人数が少なすぎるので、学年関係なく関わってほしいと思う。		
		人との関わりについての成長。		
		同じ友達がずっと続くので、全員が仲の良い雰囲気を作ってほしい。		
		上の学年が我慢をしなくていい行事づくり。		
		単学級なこともあるので、幅広い学年や、学びに関わる人達を通しての人間力。		
		人との関わり方をしっかり学んで欲しい。		
		協力し合える学校づくり。		
		牧之原小学校区は元々保育園から中学校までほとんど生徒や環境が変わらないので、高校へ進学するまでにちゃんと学力や環境への対応力をつけ、急な環境変化に備えて欲しい。		
		学力も大切だけど、命の大切さ、問題行動があった時、登校拒否の時の対応など、一貫校に限らず、家庭と学校と連携して子ども達と共に成長していける学校。		
		学びの意欲が9年間続くよう、一人一人の特性を全ての先生に共有してもらいたい。そして、その特性を活かした教育で一人一人の個性を伸ばし、また配慮をしてもらって自己肯定感を育ててほしい。もちろん、家庭とも連携して。		
		9年間で子どもが育つ特別なカリキュラムを考えてほしい。		

■『牧之原市菊川市学校組合 小中一貫教育推進計画についてのアンケート』における自由記述意見とそれに対する回答

【アンケート設問】Q 4. 小中一貫校に望むこと、大事にしてほしいことは何ですか。

意見の分類		意見	回答	関連ページ
大分類	中分類			
基本計画 ：視点1】 9年間の系統的・連続的な学び	●個別最適な学び	子ども達が一貫という言葉に混乱しないように変わりなく、楽しく集中できる授業であり、学校生活が充実して過ごしていける事です。	9年間を通した学びや育ちにより、子どもたちが学校に通うことが楽しく、安心感をもって学校生活を送れるようにします。	P13
		子どもが楽しく充実して過ごせる環境。	一つの学校に1年生から9年生までの教員がいることで、子どもと関わる教員の人数も増え、より多くの人が子どもの成長に関わるようになり、手厚い支援や指導の中で成長を見守ることができるようになります。	
		子ども達が安全で元気に過ごせる環境であって欲しいです。		
		子どもが安心して通える環境作り。		
		子ども達が楽しく通える学校になればいいなと思っています。	学校で示しているいじめ防止基本方針をもとに、いじめに関して全校体制で取り組んでいきます。	
		生徒一人一人に寄り添って欲しい。個人の子ばかりピックアップしないで分け隔てなく見て欲しい。		
		イジメ問題にこれまで以上に強く取り組んでいただきたい。		
		個々の勉強レベルを上げて欲しい。	個々の学習については、乗り入れ授業やI C Tを活用し、個別最適な学びに取り組んでいきます。	
【基本計画 ：視点2】 地域や世界とつながる多様な体験活動 【基本計画 ：視点3】 教職員等の組織体制	●地域とのリアルな体験 ●9年間の子どもの学びや育ちが共有でき、一貫した指導ができる環境づくり	小中乗り入れ授業や地域との交流を更に進めてほしい。	乗り入れ授業の対象教科や学年を増やし、小中一貫教育を更に充実していきます。	P14 P15
		地域に根付いた行事や交流は残しつつ、学力の向上といろんなコンクールへの挑戦など積極的に行って欲しい。		
		今まで通り、地域の方々との繋がりを大事にしたものであるとうれしいです。		
		行事の統一化。 用品などを出来るだけ統一化。 (上靴、プール帽子など学年色の必要性、バックなど使えるものは長く) 長期休み明けなどの給食の日程のバラツキを減らして欲しい。	地域との交流については、学校運営協議会のみなさんと教育課程を協議し、今まで以上に地域との連携に力を入れ、さまざまな体験活動を通して実践していきます。	
		小学生のヘアカラーは許されるのに中学生のヘアカラーは許されない。小中一貫になったらどうなるのでしょうか。小学生に入ったらヘアカラーは禁止にしてほしいです。	9年間を通した学校行事や学校生活のきまり等を、今後学校にて検討していきます。	
【基本計画 ：視点4】 学びやすい教育環境の整備	●施設一体型校舎の整備	校舎等の施設の老朽化が、気になるので、この機会に新たなものにしていただければと思います。	現在の校舎を活用し、施設一体型の校舎とします。 教育活動が充実するよう、適宜必要な修繕を行っていきます。	P15 P16
	●通学方法	自転車通学と小さい小学生の安全確保。	丸尾原方面の通学方法や敷地内及び進入時の安全対策など、今後さまざまな面から検討していきます。	P16
		通いやすさ、通学の安全性。		